



ニューズレター No.113

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

<https://lora-saga.jp/>

<https://lora-saga.jp/ialt/>

☎840-8502 佐賀市本庄町1 佐賀大学理工学部内 TEL/FAX : 0952-28-8712

令和7(2025)年 7月 29日

2025年度 第1回

低平地研究会運営委員会の開催

5月28日(水)13:30~14:30、佐賀大学理工学部3号館会議室において、2025年度第1回低平地研究会運営委員会が開催されました。王丸会長および大串運営委員長の挨拶により開会し、2024年度の活動報告および決算報告、運営委員会委員案の説明と承認が行われました。続く2025年度の活動計画および予算案の審議では、研究会会員からのニーズを積極的に募り、それを研究会の活動に反映させていく方針が示されました。また、近年の物価高騰を踏まえ、赤字化を避けつつ予算を慎重に執行する必要性が確認され、いずれの議案も承認されました。



王丸会長による挨拶



会議の様子

続いて、16:00~17:30には特別講演会が開催され、公益財団法人鍋島報効会 理事・事務局長の富田紘次氏を講師にお迎えし、「佐賀城下発展史の現在」と題してご講演をいただきました。講演では、江戸時代から現代に至る佐賀市の構成の変遷について、文献や地図資料を用いながら、現代の地図と比較する形で分かりやすく解説されました。

また、歴史的背景に基づくまちづくりの一環として、鍋島報効会、佐嘉神社、佐賀市が連携し、「松原公園」の設置が計画されていることも紹介され、佐賀市のアイデンティティをより強く表現する取組として注目を集めました。



講師の富田紘次氏

2025年度 低平地研究会

活動報告会・特別講演会の開催

5月28日(水)、佐賀大学理工学部6号館都市大講義室にて、低平地研究会の活動報告会および特別講演会が開催されました。

15:00~15:45に活動報告会が行われ、大串運営委員長による運営委員会報告ののち、各専門部会（基盤整備、都市空間、環境、地域創生、歴史・文化）および低平地防災特別部会から、2024年度の活動内容と2025年度の活動計画が報告されました。

2025年度特別講演会の動画配信

上記の特別講演「佐賀城下発展史の現在」を会員限定デジタルコンテンツ『「低平地研究会」図書館』https://lora-saga.jp/lora_lib/でご視聴可能です。ご利用には会員様へ昨年度会費納入時にお知らせしました【ユーザー名/パスワード】が必要です。詳細は事務局へメールでお問い合わせください。

事務局メールアドレス : lora@lora-saga.jp

環境専門部会

映画上映会とトークセッションの開催

3月16日(日)14:00～16:00、佐賀大学理工学部6号館都市大講義室にて、環境専門部会主催による映画上映会とトークセッションが開催されました。上映された映画は、佐賀低平地を舞台とした「干潟の空に出会って」。本イベントは、映画と対話を通して、佐賀低平地の豊かな自然や地域の魅力、環境の多様な側面について改めて考えることを目的に企画されたものです。

当日は約100名の参加者が映画を鑑賞しました。その後のトークセッションでは、三島悠一郎副部会長が聞き役となり、映画監督の荒木祥氏(I2U代表・東京大学)をはじめ、出演者の藤山遥氏、愛純百葉氏、シンガーソングライターの江頭勇哉氏に映画製作の裏話や佐賀低平地の魅力について語っていただきました。



トークセッションの様子

低平地防災特別部会・基盤整備専門部会 ジョイント講演会の報告

3月27日(木)13:00～16:50に佐賀大学理工学部6号館都市大講義室において、「水工学と地盤工学の最近の話題」と題して、下記の話題が講演されました。

- 講演① Freshwater Carbon とカーボンニュートラル
中山恵介氏(神戸大学教授)
- 講演② 流動生態系シミュレーションシステムの沿岸への適用
井上徹教氏(港湾空港技術研究所領域長)
- 講演③ 洪水氾濫時の自動車利用の危険性
押川英夫氏(佐賀大学教授)
- 講演④ 数値計算に用いる格子の特徴と精度
新谷哲也氏(東京都立大学准教授)
- 講演⑤ 竹セルロースナノファイバーを混合したシラス改良土
平瑞樹氏(鹿児島大学助教)
- 講演⑥ 載荷重を受けた単一の幅狭空洞または複数
空洞を有する地盤の安定解析
山本健太郎氏(大分大学准教授)

都市空間専門部会

GIS講習会の開催

7月23日(水)13:00～17:30に、佐賀大学理工学部3号館会議室にて、低平地研究会都市空間専門部会・部会長の猪八重氏を講師に、地理情報システム(GIS)の講習会が開催されました。参加者は14名で、GISの基本的な仕組みや地理情報を扱う上で欠かせない座標系等についての話などを説明した上で、GISの基本操作及び応用的な分析手法について、実際に参加者がGISを操作しながら体験しました。特に後半の内容については、少し高度な分析に取り組んだこともあり、参加者からたくさんの質問を受けながら講習会は進められました。多少難易度の高い内容を含んでいたものの、今後GISをそれぞれの研究や業務で活用していくためのよい機会となったものと思われます。



講習会の様子

低平地研究 No. 34 刊行

低平地研究 No. 34 が6月に刊行されました。今号では、地域創生専門部会による特集「肥前の前海と後ろ海」の他、5件の論文報告、研究会の活動報告が掲載されています。

会員限定デジタルコンテンツ

『低平地研究会』図書室』

https://lora-saga.jp/lora_lib/で「低平地研究」バックナンバーを閲覧いただけます。(入室にはパスワード等が必要です) また、お待たせしておりました低平地研究 No.31, 32, 33 の閲覧も可能となっておりますので、ぜひご利用ください。

「低平地研究会」図書室
(会員限定コンテンツ)

編集後記

7月中旬に4日ほどインドネシアに出張しました。現地では、エアコンがしっかり効いており、屋外もカラッとしていて耐えられる暑さでした。帰国後の蒸し暑さが堪えます。
編集：三島悠一郎、武富(lora@lora-saga.jp)

